

令和7年度 グランドデザインに関する学校評価アンケートの結果(生徒)

令和7年度12月 銚田市立銚田北中学校 項目別評価 ◎90%以上 ○80%以上 □70%以上 ☆60%以上 ×50%以上 ××50%未満

グランドデザインと学校評価に関する項目			生徒アンケートの結果(数値は、肯定評価A・Bを合わせています)							
			7月	達成度	7月	12月	達成度	12月	達成度	増減
期待する生徒像		①目標を達成するために努力できる生徒 (夢や目標をもち、その達成に向けて取り組んでいる。)	85.5	○	88.4	90.9	◎	90.9	○	5.4
		②自分で考え、判断し、行動できる生徒 (自分で考え判断しながら行動している。)	91.2	◎		93.9	◎			2.7
		③思いやりと感謝の心をもてる生徒 (思いやりや感謝の気持ちをもち生活している。)	94.8	◎		98.0	◎			3.2
		④地域との絆を大切にし、「貢献」できる生徒 (地域を大切にし、誰かのために役立とうとしている。)	81.9	○		80.7	○			-1.2
めざす教師像		①人間味に溢れ学び続ける教師			95.3			96.5	◎	
		②生徒に寄り添い、励まし最後まで見届ける教師 (先生は、私たちに熱心に声をかけ、励まししながら見守ってくれている。)	95.3	◎		96.5	◎			0.2
		③組織の中で協働できる教師								
学校経営		①組織目標「知りたい」をつなぎ、自ら問いを立て、考えを伝え合う中で共に学ぶ授業づくり ～ICTの効果的な活用を通して～								
確かな学力	授業改善に向けて	①知りたい気持ちを大切にしたい問いを立てる力の育成 (授業では、自分から問いを立てることができる。)	76.7	□	86.6	80.7	○	91.3	○	4.0
		②生徒が自分の考えを伝え合う場の設定 (授業では、自分の考えを伝えることができる。)	78.2	□		98.0	◎			19.8
		③対話や説明をする上での生徒のICTの活用 (自分の考えや思いを伝え合う授業の中で、ICT機器を活用している。)	94.8	◎		94.4	◎			-0.4
		④生徒の考えを引き出す学習課題や発問の工夫 (先生は授業の中で、学習課題や発問を分かりやすく説明している。)	95.9	◎		91.4	◎			-4.5
		⑤まとめと振り返りの確実な実施(できたこと・分かったことのアウトプット)(分かったことやよく分からなかったことを見直し、次の学習につなげることができる。)	87.6	○		91.9	◎			4.3
	基礎的・基本的な学力の定着	⑥MIRAIタイムの充実								
		⑦ミニテストの実施								
		⑧個に応じた指導生徒								
豊かな心	生徒のアイデアを生かした特別活動	①生徒が自分の考えを伝え合う場の設定			90.1			91.9	◎	
		②生徒の考えを生かし、生徒が主体的に取り組む学校行事 (自分は、学校行事(秋祭りの合唱コンクール等)に積極的に取り組んでいる。)	93.8	◎		91.9	◎			-1.9
	自分も友達も大切に、自己有用感自己存在感を感じられる学年・学級経営	③仲間同士をつなぐエンカウターの実施 (友達との関係づくりでは、自分も友達も大切にすることができる。)	96.4	◎		89.4	○			-7.0
		④多様性を認め合える人権教育の推進 (人権尊重の意味を理解し、生活の中で生かしている。)	91.2	◎		98.0	◎			6.8
		⑤教育相談の充実(SC、SSWとの連携) (教育相談では担任の先生や外部の先生との相談がしやすい。)	83.4	○		89.9	○			6.5
	道徳教育の推進	⑥学年道徳(合同授業)の実施 (道徳の学習に進んで取り組んでいる。)	91.2	◎		94.4	◎			3.2
		⑦自分事として考え、議論する道徳科の実施								
健やかな体づくり	主体的に取り組む体力づくりの実践	⑧職業体験学習、農業体験学習等 (職業体験・農業体験、地域のボランティア活動に積極的に取り組んでいる。)	84.5	○	91.4	87.9	○	92.8	◎	3.4
		①保健体育科の授業における運動量の確保 (保健体育の授業では、課題の達成に向けて進んで運動に取り組んでいる。)	89.1	○		96.0	◎			6.9
	危機管理能力の育成	②グループ活動やICTを活用し、楽しみながら運動できる授業の実践(保健体育のグループ活動を通して、課題解決に向けてICTを活用したり、ゲームの作戦を考えたりするなど楽しみながら取り組んでいる。)	87.6	○		92.9	◎			5.3
		③自分の命は自分で守る意識の醸成 (交通安全や感染症及び熱中症予防など、自分の命は自分で守ろうと意識している。)	94.3	◎		94.4	◎			0.1
		④定期的な避難訓練の実施 (緊急時に備えて、避難訓練等には熱心に取り組んでいる。)	93.8	◎		94.4	◎			0.6
	保健安全指導の徹底	⑤早寝・早起き・朝ごはんの推進 (早寝・早起きをし、朝食を食べるなど規則正しい生活をしている。)	92.2	◎		86.3	○			-5.9
		⑥SNSの使用等における家庭との連携								
		⑦外部講師による命、薬物乱用防止、交通安全等に関する指導								

今回実施の生徒アンケートの結果(12月)から各項目の達成度を見ると、評価◎(達成度90%以上)は全項目中15項目、評価○(達成度80%～90%未満)が6項目という評価が得られました。前回(7月)のアンケート結果と今回(12月)の結果を比較すると、◎の評価が増えるなど数値的に高い評価が得られました。増減幅が+(-)に大きく伸びた項目で見ると、「授業では自分の考えを伝えることができる(+19.8%)」、「人権尊重の意味を理解し、生活の中で生かしている(+6.8%)」、「教育相談では担任の先生や外部の先生との相談がしやすい(+6.5%)」、保健体育の授業では「進んで運動に取り組んでいる(+6.9%)」という項目に伸びが見られました。反面、今後の改善が特に必要な項目について、友達との関係づくりでは「自分も友達も大切にすることができる(-7.0%)」の結果について、道徳教育や人権教育などを通して、相手を思いやる気持ちの育成に努めてまいります。また生徒間のトラブルに対して、互いの思いや考えを聞き取るなどトラブルの原因を確かめながら、解決に向けて互いが納得できる対応をしてまいります。次に、「早寝・早起き・朝ごはんの推進(-5.9%)」の結果に対して、生活習慣の変化から朝食を食べない生徒が一部に見られます。一日の活力となる朝食については、ご家庭にも協力をいただき毎朝しっかりと食べることができるようにしていきたいと思います。今回のアンケート結果について、職員間で共有しながら改善を図るとともに今後の教育活動に活かしてまいります。

令和7年度 グランドデザインに関する学校評価アンケートの結果(保護者)

令和7年度12月 銚田市立銚田北中学校 項目別評価 ◎90%以上 ○80%以上 □70%以上 ☆60%以上 ×50%以上 ××50%未満

グランドデザインと学校評価に関する項目			保護者アンケートの結果(数値は、肯定評価A・Bを合わせています)							
			7月	達成度	7月	12月	達成度	12月	達成度	増減
期待する 生徒像		①目標を達成するために努力できる生徒 (家庭での役割を意図的に与えたり、目標達成に向けた粘り強い取組を支援したりしている。)	86.8	○	79.5	92.1	◎	81.4	○	5.3
		②自分で考え、判断し、行動できる生徒 (日頃から、自ら考え判断しながら行動している。)	85.7	○		88.9	○			3.2
		③思いやりと感謝の心をもてる生徒 (日頃から、思いやりや感謝の心をもって生活している。)	89.6	○		92.1	◎			2.5
		④地域との絆を大切にし、「貢献」できる生徒 (日頃から、地域のために役立つようとしている。)	56.0	×		52.6	×			-3.4
めざす 教師像		①人間味に溢れ学び続ける教師			95.6			95.8	◎	
		②生徒に寄り添い、励まし最後まで見届ける教師 (教師は日頃から、生徒に寄り添い関わろうとしている。)	95.6	◎		95.8	◎			0.2
		③組織の中で協働できる教師								
学校経営		①組織目標「知りたい」をつなぎ、自ら問いを立て、考えを伝え合う中で共に学ぶ授業づくり ～ICTの効果的な活用を通して～ (学校は、本年度のキーワードとして取り組んでいることを理解している。)	91.2	◎	91.2	92.7	◎	92.7	◎	1.5
確かな学 力	授業改善に向け て	①知りたい気持ちを大切にしたい問いを立てる力の育成			91.2			92.7	◎	
		②生徒が自分の考えを伝え合う場の設定								
		③対話や説明をする上での生徒のICTの活用 (授業の中でICT機器を活用し、生徒の効果的な活用を目指した授業を行っている。)	95.6	◎		96.3	◎			0.7
		④生徒の考えを引き出す学習課題や発問の工夫 (授業を通して、学習課題や発問の工夫を行い、生徒の意欲を高めている。)	90.7	◎		94.8	◎			4.1
	基礎的・基本的な 学力の定着	⑤まとめと振り返りの確実な実施 (できたこと・分かったことのアウトプット)								
		⑥MIRAIタイムの充実								
		⑦ミニテストの実施 (ミニテスト等を実施しながら、学習の基礎基本の定着を図っている。)	94.5	◎		95.3	◎			0.8
		⑧個に応じた指導生徒 (一人ひとりに応じた学習指導をしている。)	84.1	○		84.2	○			0.1
豊かな心	生徒のアイデアを生かした特別活動	①生徒が自分の考えを伝え合う場の設定			95.8			95.8	◎	
		②生徒の考えを生かし、生徒が主体的に取り組む学校行事 (生徒主体となる学校行事の活性化を図っている。)	98.4	◎		97.9	◎			-0.5
	自分も友達も大切にし、自己有用感自己存在感を感じられる学年・学級経営	③仲間同士をつなぐエンカウンターの実施								
		④多様性を認め合える人権教育の推進								
		⑤教育相談の充実(SC、SSWとの連携) (複数担任制や外部機関との連携は、教育相談の充実にも有効である。)	94.0	◎		94.3	◎			0.3
	道徳教育の推進	⑥学年道徳(合同授業)の実施								
		⑦自分事として考え、議論する道徳科の実施								
地域資源を生かした体験活動の充実	⑧職業体験学習、農業体験学習等 (地域との連携を通して、様々な体験活動の充実を図っている。)	95.1	◎		95.3	◎		0.2		
健やかな 体づくり	主体的に取り組む体力づくりの実践	①保健体育科の授業における運動量の確保			93.0			93.1	◎	
		②グループ活動やICTを活用し、楽しみながら運動できる授業の実践								
	危機管理能力の育成	③自分の命は自分で守る意識の醸成 (交通安全や感染症及び熱中症などの安全に向けた生徒への啓発を行っている。)	97.3	◎		96.9	◎			-0.4
		④定期的な避難訓練の実施 (定期的に訓練活動を行い、緊急時に備えた避難や対処の仕方を行っている。)	97.9	◎		97.9	◎			0.0
		⑤早寝・早起き・朝ごはんの推進 (生徒は、日頃から早寝早起きをし、朝食を摂っている。)	81.3	○		81.6	○			0.3
	保健安全指導の徹底	⑥SNSの使用等における家庭との連携								
		⑦外部講師による命、薬物乱用防止、交通安全等に関する指導 (外部講師による講演や指導は、生徒にとって有効なものになっている。)	95.6	◎			95.8			◎

今回実施の保護者アンケート(12月)の結果から各項目の達成度を見ると、評価◎(達成度90%以上)は全項目中13項目、評価○(達成度80%～90%未満)が3項目、評価×(達成度50%～60%未満)が1項目という評価が得られました。前回(7月)のアンケート結果と今回(12月)の結果を比較すると、◎の評価が増える結果が得られました。増減幅が+(プラス)に伸びた項目で見ると、「家庭では役割を意図的に与えたり、目標達成に向けた粘り強い取組を支援したりしている(+5.3%)」、授業改善に向けて「学習課題や発問の工夫を行い、生徒の意欲を高めている(+4.1%)」、「生徒は日頃から、自ら考え判断しながら行動している(+3.2%)」という結果でした。一方で、評価が下がってしまった項目に関して、①「地域との絆を大切にし、貢献できる生徒」については、地域のボランティア活動への積極的な取組を促したり、地域貢献のために自分たちは何ができるかなど、生徒同士の話し合いにより取組を見出ししていきたいと思っております。②「生徒の考えを生かし、生徒が主体的に取り組む学校行事」について、スポーツフェスティバル(体育祭)でのよさこいソーランや、合唱祭などの取り組みに加え、生徒会を中心とする自治的な活動の活性化を図りながら、生徒の自己有用感や自己肯定感につながる活動を目指してまいります。③「自分の命は自分で守る意識の醸成」について、交通安全をはじめ感染症や熱中症などの安全指導への啓発については、今後も継続して行ってまいります。その他、保護者の皆様からいただいたご意見やご要望につきまして、教職員一同、内容の共有や検討を図りながら、今後の教育活動に活かしてまいります。

令和7年度 グランドデザインに関する学校評価アンケートの結果(教職員)

令和7年度12月 銚田市立銚田北中学校 項目別評価 ◎90%以上 ○80%以上 □70%以上 ☆60%以上 ×50%以上 ××50%未満

グランドデザインと学校評価に関する項目			教職員アンケートの結果(数値は、肯定評価A・Bを合わせています)							
			7月	達成度	7月	12月	達成度	12月	達成度	増減
期待する生徒像		①目標を達成するために努力できる生徒 (生徒一人一人の長所を伸ばし、目標達成に向けて支援している。)	100	◎	100.0	100	◎	97.1	◎	0.0
		②自分で考え、判断し、行動できる生徒 (自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成に心がけている。)	100	◎		100	◎			0.0
		③思いやりと感謝の心をもてる生徒 (思いやりや感謝の心をもてる生徒の育成に心がけている。)	100	◎		100	◎			0.0
		④地域との絆を大切に、「貢献」できる生徒 (学校や地域のために自ら役に立とうとする生徒の育成に心がけている。)	100	◎		88.3	○			-11.7
めざす教師像		①人間味に溢れ学び続ける教師 (常に教師としての資質向上を目指し、自己研鑽に努めている。)	100	◎	100.0	100	◎	100.0	◎	0.0
		②生徒に寄り添い、励まし最後まで見届ける教師 (個々の生徒に熱心にかかわることを心がけている。)	100	◎		100	◎			
		③組織の中で協働できる教師 (学校組織の一員として、互いに協力して取り組んでいる。)	100	◎		100	◎			
学校経営		①組織目標「知りたい」をつなぎ、自ら問いを立て、考えを伝え合う中で共に学ぶ授業づくり ～ICTの効果的な活用を通して～ (組織目標を本年度のキーワードとして取り組んでいる。)	100	◎	100.0	100	◎	100.0	◎	0.0
確かな学力	授業改善に向けて	①知りたい気持ちを大切にしたい問いを立てる力の育成 (授業では、生徒自ら問いを立てる力の育成を図っている。)	75.0	□	89.1	70.6	□	89.0	○	-4.4
		②生徒が自分の考えを伝え合う場の設定 (授業では、生徒の考えを伝え合う場を設定している。)	100	◎		100	◎			0.0
		③対話や説明をする上での生徒のICTの活用 (授業では、対話や説明の場面で、積極的にICTの活用を行っている。)	93.8	◎		88.2	○			-5.6
		④生徒の考えを引き出す学習課題や発問の工夫 (授業では、生徒の考えを引き出すための、学習課題や発問等の工夫をしている。)	81.3	○		100	◎			18.7
	基礎的・基本的な学力の定着	⑤まとめと振り返りの確実な実施(できたこと・分かったことのアウトプット) (授業では、生徒の考えを伝え合える場面を設定している。)	100	◎		100	◎			0.0
		⑥MIRAタイムの充実 (MIRAタイムは、学力向上に向けた効果的な時間となっている。)	87.5	○		82.4	○			-5.1
		⑦ミニテストの実施 (学力の定着を目指したミニテストを行っている。)	87.5	○		76.5	□			-11.0
		⑧個に応じた指導 (学習場面に応じて、個に応じた指導を行っている。)	87.5	○		94.1	◎			6.6
豊かな心	生徒のアイデアを生かした特別活動	①生徒が自分の考えを伝え合う場の設定 (活動場面において、自分の考えを伝え合う場の設定を工夫している。)	100	◎	98.0	100	◎	95.5	◎	0.0
		②生徒の考えを生かし、生徒が主体的に取り組む学校行事 (学校行事が、生徒主体の活動となるよう努めている。)	100	◎		94.1	◎			-5.9
	自分も友達も大切に、自己有用感自己存在を感じられる学年・学級経営	③仲間同士をつなぐエンカウターの実施 (生徒同士のよりよい関係づくりのために、エンカウターの実施に努めている。)	87.5	○		94.1	◎			6.6
		④多様性を認め合える人権教育の推進 (教育活動全体において、人権教育の実現に向けた取組を行っている。)	100	◎		100	◎			0.0
		⑤教育相談の充実(SC、SSWとの連携) (複数担任やSCとの連携を通じて、生徒理解に努めている。)	100	◎		94.4	◎			-5.6
	道徳教育の推進	⑥学年道徳(合同授業)の実施 (道徳性を養うために、学年道徳(合同授業)を取り入れながら実施している。道徳科の授業の工夫に努めている。)	100	◎		93.8	◎			-6.2
		⑦自分事として考え、議論する道徳科の実施 (自分事として考え、議論する道徳を目指した授業の工夫に努めている。)	100	◎		93.8	◎			-6.2
	地域資源を生かした体験活動の充実	⑧職業体験学習、農業体験学習等 (体験活動の機会を設け、将来につながる活動となるよう努めている。)	100	◎		93.8	◎			-6.2
健やかな体づくり	主体的に取り組む体力づくりの実践	①保健体育科の授業における運動量の確保 (保健体育や部活動では、運動量の確保に努めている。)	100	◎	98.0	88.2	○	93.2	◎	-11.8
		②グループ活動やICTを活用し、楽しみながら運動できる授業の実践 (授業や部活動など体力づくりのために、グループ活動やICTを活用するなど、主体的に取り組めるように工夫している。)	93.8	◎		82.4	○			-11.4
	危機管理能力の育成	③自分の命は自分で守る意識の醸成 (日頃から交通安全や感染症及び熱中症予防など、自分の命は自分で守ろうとする意識喚起を図っている。)	100	◎		100	◎			0.0
		④定期的な避難訓練の実施 (定期的な訓練活動を通して、緊急時に備えた避難や対処の仕方を行っている。)	100	◎		100	◎			0.0
		⑤早寝・早起き・朝ごはんの推進 (「早寝・早起き・朝ごはん」など、生活習慣の定着に努めている。)	100	◎		94.1	◎			-5.9
	保健安全指導の徹底	⑥SNSの使用等における家庭との連携 (SNSを通して、保健安全に関する注意喚起など、家庭との連携を図ることができている。)	94.1	◎		88.2	○			-5.9
		⑦外部講師による命、薬物乱用防止、交通安全等に関する指導 (外部講師による講演や指導は、生徒にとって効果的な指導につながっている。)	100	◎		100	◎			0.0

今回実施の教職員アンケート(12月)の結果から、前回(7月)のアンケート結果を比較すると、7月の全項目の平均値が93.2%に対して、12月の全項目の平均値が94.1%の結果となり、0.9%の平均値の伸びが得られました。項目で見ると、「生徒の考えを引き出す学習課題や発問の工夫(+18.7%)」の結果では、授業始めには学習課題を提示し、生徒が課題解決に向かうための発問を工夫することで、深い学びへとつながるようにしています。さらに、生徒の考えを互いに伝え合う場の設定や個に応じた指導の場面、まとめや振り返りの場面設定に対する数値も高い結果が得られました。今後の改善が必要な項目について、「地域との絆を大切に、貢献できる生徒」については、【別紙の保護者の結果】に記載しています。生徒の学校生活でのあらゆる活動場面を通して、自己有用感や自己肯定感につながる活動を目指してまいります。また、保健体育や部活動での運動量確保や主体的な活動に対して、生徒自身の目標や課題を明確にし、解決のための取組を継続しながら指導してまいります。今回のアンケート結果についての課題は、今年度中に検証し見直ししながら改善に取り組んでまいります。また、保護者の皆様からいただいたご意見やご要望につきまして、教職員一同、内容の共有や検討を図りながら、今後の教育活動に活かしてまいります。